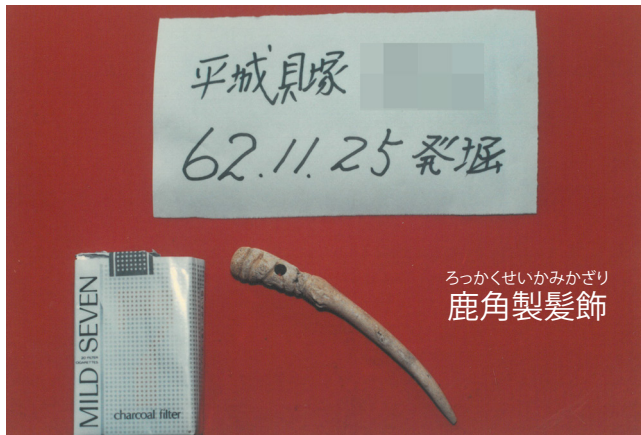


あいなんちょう いせき 愛南町の遺跡 - 3 -

平成29年10月

愛南町教育委員会

ひらじょうかいづか みりよく かいづか まも 平城貝塚の魅力 - 貝塚が守った、土器や石器以外の道具 1



ろっかくせい かみかざり
鹿角製髪飾

貝塚では、捨てられた多量の貝殻が注目を集めますが、その貝殻のカルシウムのおかげで守られた道具があります。その中の一つに髪飾があります。左の写真がそれです。鹿の角を細工したものと考えられますが、どこにあるのかが分かっていません。

あたまには、せん きざり、あなをあけています。孔には房のようなものを通したのかもしれませんが、相当手が込んだ作りです。福岡県鐘崎貝塚では、女性の埋葬人骨の頭部から、この道具と似たものが見つかっていますので、平城貝塚でも女性の髪を飾っていたものと思われる。



次に左の写真の道具ですが、猪の牙に小さな孔を開けたものです。エナメル質（白い部分）は、現在でも綺麗な状態ですので縄文時代においてはもっと白く輝いていたと思われる。

平城貝塚から出土したのは、現在のところ2点です。福岡県山鹿貝塚の男性の埋葬人骨では、両方の耳元付近で出土していますので、ピアスのように耳を飾る道具であったことが考えられます。

さいご しょうかい かいわ
最後にご紹介するのは、貝輪という道具です。福岡県山鹿貝塚では、幾つもの貝輪を腕にはめた女性の埋葬人骨が発見されていますので、女性の腕を飾る道具と考えられます。



ベンケイガイ製貝輪(平城貝塚出土※矢印部分が模様)

平城貝塚の貝輪は、^{ざんねん}残念ながら欠けた状態で見つっていますが、^{ふち}縁に^{せん}線で模様を刻んでいます。この類例は平城貝塚以外では見ることはできません。さて、この道具を何歳の頃から身につけたのでしょうか。貝輪の直径からすると、大人になってからでは不可能です。遅くても小学校の低学年くらいの頃から、身につけていたと思われます。



ベンケイガイ製貝輪(平城貝塚出土※矢印部分が模様)

文化財の保護にご理解とご協力をお願いします！

文化財は、壊されてしまうと元に戻すのが極めて難しいものです。特に、遺跡として知られるものは、地面の下にあるために、地上でその存在を知ることは困難です。…遺跡に関するお問い合わせは、生涯学習課（電話0895-73-1112）まで。